

震災被災者支援チャリティー上映会 ご来場をお待ちしています。ご協力をお願いします。

メイシネマ祭 // 5月3日(火) 4日(水) 5日(木)

会場 小岩コミュニティホール
JR小岩駅下車南口サロード徒歩10分 小岩図書館2F

シネマ・希望のひかり—映画を見よう! みんなで映画会! *全てキヨロイです。

① 5月3日—憲法記念日

*開場は開映30分前。

④ 11:00 AM 「街のひかり」
10.ビデオ、71分
製作映画美学校 監督飯塚俊男
(開映) 深谷はかつて中山道で一番賑やかな宿場町だった。昭和30年代賑わいの中心は映画館。その灯が消えた30年経った8年前市民の手で映画館「深谷沢又」が立ち上がった。運営はさびしいが映画館を支え、温く見守る人々がいる。ここにも夢とつなぐ「再生の物語」がある。

② 5月4日—みどりの日

⑤ 10:30 AM 「うっし世の静寂に」
10.ビデオ、96分
製作さらプロダクション 監督由井英
「人が一生に出会う人は多くありません。でも出会う人には不思議な出会い。もしあなが偶然この映画と出会ったとしたら、それはきっと出会う理由があるのだと思います。そして後にも先にもなく、いま出会うべくして出会った映画だ」と思ってもらえれば嬉しいです。映画監督由井英

③ 5月5日—こどもの日

① 10:30 AM 「小さな町の小さな映画館」
11.ビデオ、105分
監督森田孝子 監督 細野四宮健男
北海道にある人口1万4千余りの牧場と漁業の町「浦河」に創業93年目を迎える映画館「文黒屋」がある。これは奇跡ではなく、ここには映画を愛し楽しむ人たちの熱い思いがある。

⑥ 1:00 PM 「たたいまそれぞれの居場所」
10.ビデオ、96分
制作アール・安岡与治 監督大宮浩一
介護保険制度導入から10年。映画でみつめる介護の現在。介護の「春」もうそこまできています。ようやく見つけた、それぞれの居場所。いっしょに見つめてみませんか?平成22年度文化庁文化記録映画大賞作。世代を超えて見てほしい作品。

⑦ 12:50 PM 「南回帰行」
11.ビデオ、135分
制作福成撮影編集 監督 岡村洋
「バコニア風に咲く花」「ギョウ高地の伝言」に続く、在アラビヤ移民植物学者、橋本梧郎先生のフィールドワークを追う同行記録。紀行映画又ロードムービーとして今回も無類なく面白い作品になっている。上映は今回も監督立合いのライブ上映

⑧ 1:00 PM 「里山の学校」
109.ビデオ、103分
製作桜映画社 監督原村政樹
千葉県木更市にある里山で開かれている「土曜学校」の14ヶ月を追った子供たちは好奇心・冒険心いっぱい思い思いに自由に元気な時間を過ごす。失敗もするし、大きな壁にぶつかる。しかし、あきらめずに試行錯誤を重ねながら挑戦する。

⑨ 3:20 PM 「アイ・コンタクト」
10.ビデオ、88分
もう一つのなでしこジャパン 監督 甲村和彦
「見る」と「かく見る!」どんな時でも顔を上げないと伝わらないから! 2009年夏台北、テフリンピックに初出場した女子日本代表チーム、ピッチにたどり着くまでのそれぞれのドラマ……サッカー大好きな人はもちろん、サッカーを知らない人にもオススメです。

⑩ 3:50 PM 「長居青春酔夢歌」
109.ビデオ、69分
監督 NDS佐藤零郎
2007年夏に押えた世界屋上のため長居公園では野宿者たちの強制排除が始まった。公園で最後まで演劇をした野宿者、支援者の一枚岩ではない様々の思いが監督の視線交錯し、カメラが公園や路上でのアクションを記録する。09山形国際ドキュメンタリー映画祭招待作品

⑪ 3:30 PM 「大丈夫、小児科医・細谷亮太の日記」
11.ビデオ、85分
監督伊勢貞一
「大丈夫」と小児科医・細谷亮太さんは診察を終えた病児の子どもたち一人ひとりに必ずそのひとを添えて戻ります。「風の子たちに続く姉妹作「大丈夫」は、未来への祈りの映画です。
緊急上映 「サトウ〜被災地からの歌声〜」
制作 いせフィルム 監督 山崎 隆
147プロダクション
宮城県亘理町在住のミュージシャン、宮米地サトウさんと訪ねて

⑫ 5:30 PM 「ミツバ子の習習と地球の回転」
10.ビデオ、135分
制作グループ現代 監督 鎌仲ひとみ
福島原発大事故・大災害はいつ終息するのか? 私たちのエネルギーの未来は、持続可能な社会はどちらからできるのか。「ヒバクシャ世界の終わりに」「六ヶ所村プルトウニ」に続き世に問う全国民必見作。今からでも暮らしを憂うべき。

⑬ 5:40 PM 「森聞き」
10.ビデオ、125分
制作アロウエーション エイジア 監督 柴田 昌平
この映画は「森の名人」と呼ばれる人たちの人生と枝を聞き書きした高校生4人を追った作品です。日本のこゝ一般的若者たちが抱える生き難さや未来への不安を、日本が近代化の中で失った山村生活の老人たちとの出会いを通して乗り越えようとして行きます。

⑭ 5:50 PM 「月あかりの下で」
10.ビデオ、115分
制作グループ現代 監督 太田直子
ある定時制高校の記憶。それは憧れ若者たちの学びの場。小中学校で不登校、高校を中退した若者たちの再出発の場。そんな若者たちが小僧み、ぶっかかり、支えあい過ごした4年間をカメラは一人ひとりに寄り添いながら記録。ドキュメンタリーの力、魅力と芸術、傑作。

※3日間、各日ゲスト(映画監督・スタッフ)によるショートトークを予定しています。

○どなたでも鑑賞できます。鑑賞料金の内20%を被災者支援のための義援金とさせていただきます。

○主催メイシネマ上映会 TEL FAX 03-3659-0179

○料金、当日券のみ(プログラムA~L、1回毎)
一般・学生(大高専)1,000円(内200円義援金)
小・中学生 500円(内100円義援金)
※全自由席(200)各回入替制です。

